

令和7年度公共ホール現代ダンス活性化事業 事業申し込みにあたっての留意事項

1 プログラム実施の考え方について

実施要綱4の各プログラムは、各ホールの状況や取り組みたい事業内容に応じて選ぶことが可能です。また、実施の順番は問いませんが、同一プログラムは2回以上実施できません。

ただし、審査は年度ごととなっていますのでご注意ください。

2 事業予定時期について

(1) 事業実施予定時期の選定

別記様式1-2「実施予定時期」の第1～3希望の日程は、原則として、以下の第1～3期の各期から1つずつ選定し、必ず第3希望まで記載してください。(ホールの改修工事など特段の事情により1つの期の中でしか日程が調整できない場合は、可能な日程を記載してください。なお、気候その他考慮が必要な事情がある場合はご相談ください。)

第1期：令和7年 7～9月

第2期：令和7年 10～12月

第3期：令和8年 1～3月

(2) 事業実施期間について

実施要綱4のAプログラムの事業日程は、アーティスト等の移動も含めた期間となります。

Bプログラム及びCプログラムについては、公演(仕込み、リハーサルなどの準備期間を含む。)及びワークショップを含めた期間となります。また、実施要綱4に定める事業日程の最終日に公演を行う場合、翌日に移動日の設定が可能です。

なお、各プログラムのスケジュール例は以下の通りです。

① Aプログラム (4日間)

〈スケジュール例1〉

	1日目 (水)	2日目 (木)	3日目 (金)	4日目 (土)
午前		アクトリーチ①	アクトリーチ④	公募WS
午後	移動	アクトリーチ②・③	アクトリーチ⑤	移動
夜間				

〈スケジュール例2〉

	1日目 (火)	2日目 (水)	3日目 (木)	4日目 (金)
午前		アクトリーチ①	アクトリーチ③	アクトリーチ⑤
午後	移動	アクトリーチ②	アクトリーチ④	移動
夜間	公募WS			

② Bプログラム（9日間）

〈3日間+6日間で分けた場合〉

	1日目	2日目	3日目
午前		テクニカル打合せ	クリエイション
午後	移動	クリエイション	移動
夜間	公募WS		

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	移動日
午前		仕込み	仕込み	仕込み	リハ ・ゲネ	通し	移動
午後	移動		クリエイション	クリエイション		公演	
夜間	クリエイション	クリエイション					

※事業日程の分け方は自由です。

※「実施予定時期」の第1～3希望ごとに異なる分け方でも結構です。

③ Cプログラム（4日間）

	1日目	2日目	3日目	4日目	移動日
午前		仕込み	リハ	通し	移動
午後	移動			公演	
夜間	公募WS	リハ	ゲネ		

3 会場押さえについて

(1) Aプログラム

事業実施期間中は、公募ワークショップの会場が必要となります。

(2) Bプログラム及びCプログラム

①ワークショップ予定会場の押さえ

事業実施期間中は、公募ワークショップの会場が必要となります。

また、Bプログラムでは、市民参加作品創作のためのクリエイションワークショップの会場が期間中必要となります。

②公演予定会場の押さえ

公演予定会場の押さえは、仕込み1日、リハーサル1日、本番1日の最低3日間に加え、舞台設営の規模やテクニカルスタッフの人数によって、必要な日数が増えることがあります。事業申込概要（別記様式1-2）の所定欄に、押さえた期間及び会場名（大ホール、小ホール等）を記入してください。

なお、個別研修（現地下見）の際に、アーティストが公演予定会場を直接確認して、これまでにない会場の使い方等さまざまなアイデアが生まれる場合もあります。余裕を持った日数で会場を押さえたり、2つ以上のホールを所有している場合は、可能であれば複数箇所押さえしておく可能性が広がります。

4 事業収支予算書について

実施要綱5のとおり、地域創造では、主にアーティストの派遣に係る経費（出演料、交通費、宿泊費等）を負担しますが、主催団体においても一定の予算措置が必要となります。

また、Bプログラム及びCプログラムは、現地下見の際にアーティストが会場を直接確認して公演スタイル等を決定するため、公演内容によっては、会場の設営（適正規模の空間設営）経費やスタッフの増員経費等が発生する可能性もあります。

プログラムにより異なりますが、主催団体が負担する経費は概ね以下の項目が考えられます。

＜主催団体が負担する経費の例＞

- ・現地での移動経費（会場と最寄駅・空港、アウトリーチ先、宿泊場所等への移動）
- ・会場使用料、付帯設備使用料
- ・会場要員費（地域創造で負担するテクニカルスタッフ等以外の地元スタッフ等増員分等含む）
- ・舞台・客席設営費
- ・広報宣伝費
- ・作成費（チラシ、ポスター、プログラム、チケット等）
- ・ワークショップ参加者等保険料
- ・著作権使用料 等

※Bプログラム及びCプログラムは、上記経費のうち、要綱別紙2に定める対象経費の2／3以内を、50万円を上限に地域創造が負担します。

5 事業の申請について

(1) 下記の資料を、事業申込書（別記様式1）と併せてお送りください。

提出部数 ア～ウ、オ～キ：紙媒体各1部、電子データ各1部 エ：紙媒体1部

① Aプログラム

- ア 事業申込書（別記様式1-1、1-2）
- イ 副申書（別記様式1-4）*対象団体のみ
- ウ 別紙「令和7年度公共ホール現代ダンス活性化事業 実施ホール概要」
- エ 施設のパンフレット※

② Bプログラム及びCプログラム

- ア 事業申込書（別記様式1-1、1-2、1-3）
- イ 副申書（別記様式1-4）*対象団体のみ
- ウ 別紙「令和7年度公共ホール現代ダンス活性化事業 実施ホール概要」
- エ 施設のパンフレット※
- オ 公演予定会場の舞台図面（平面図・断面図）※
- カ 公演予定会場の舞台・照明・音響の各設備表※
- キ 公演予定会場の写真（客席正面から舞台、客席上手及び下手から舞台、舞台から客席）※
 - ・平土間仕様の会場が公演予定となる場合は、天井の照明が入るように撮影してください。
 - ・写真は、Word文書等に1頁2枚程度を貼り付けてカラーでお送りください。
 - ・他に候補となる会場がある場合は、③④⑤の資料を併せてお送りください。

※継続して他のプログラムの実施を申し込む団体においては、既に提出済みの資料については提出を省略できることとしますが、初めてBもしくはCプログラムを申し込む場合や内容等に変更が生じた場合は新たに提出してください。

(2) 提出先

① 紙媒体等の郵送物

〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階
一般財団法人地域創造 芸術環境部 ダン活担当あて

② 電子データ

メールアドレス：dankatsu@jafra.or.jp

6 研修会への参加について

実施団体の担当者には、事業実施に先立ち、必ず下記研修会に出席していただきます。

※派遣経費は各実施団体が負担

■全体研修会（アーティストプレゼンテーション）

令和6年7月29日（月）～7月31日（水） 東京芸術劇場（東京都豊島区）